

# **地方創生関連交付金の効果検証 【令和 6 年度】**

**令和 7 年 12 月**

## 目 次

<b>1 地方創生交付金の効果検証</b>	· · · · ·	<b>1</b>
<b>2 デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証</b>	· · · · ·	<b>3</b>

## 1 地方創生交付金の効果検証

### ・地方創生拠点整備交付金

地域経済の活性化という喫緊の課題に対応するため、地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる先導的な施設整備等を支援するもの。

事業年度.	事業名称及び事業概要	事業決算額 (千円)	うち 交付金 充当額 (千円)	評価指標 (KPI)	基準値 (R1)	目標値 (R6) ※前年からの増加分	実績値 (R6) ※前年からの増加分	事業評価の判定
R1 (R2 繰越)	【事業名称】 「人が育ち、新たな交流が生まれ、『まち』の活性化につながる拠点」(大型複合施設)の整備  【事業概要】 今之浦市有地・公園を多くの人々が集まる拠点として一体的に整備する	1,007,361	187,961	大型複合施設利用者数	0人	1,000人	-5,420人	一部のKPIが目標に達しなかったものの、概ね成果が得られたことから、地方創生に相当程度の効果があった。
	元気で自立して暮らす人の割合 (要介護認定なし+要介護1以下)			92.6%	0.1%	0.2%	一般利用を優先しつつ、イベントも許可していきたい。	
	大型複合施設でのイベント回数			15件	5回	5回		

※千円未満切り捨て

・地方創生推進交付金

地方創生推進交付金は、それぞれの地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に資する事業の効率的かつ効果的な実施を図るもの。

事業年度.	事業名称及び事業概要	事業決算額 (千円)	うち 交付金 充当額 (千円)	評価指標 (KPI)	基準値 (R3)	目標値 (R6) ※前年からの増加分	実績値 (R6) ※前年からの増加分	事業評価の判定
R5	<p><b>【事業名称】</b> 2つの企業連携拠点の設置による地域経済活性化の推進</p> <p><b>【事業概要】</b> 「首都圏サテライトオフィス」を設置し、首都圏企業と本市内企業とのビジネスマッチングや販路開拓、本市への企業誘致等、首都圏企業との商談や交流の場とするなど、首都圏における本市のシティプロモーション窓口として活用する。</p>	5,870	2,935	首都圏企業と本市企業とのビジネスマッチング件数	0 件	3 件	11 件	全ての KPI が目標に達し、概ね成果が得られたことから、地方創生に相当程度の効果があった
				本市のシティプロモーションイベントへの来場者数	0 人	150 人	190 人	
				本市への企業等進出件数	0 件	1 件	2 件	
				本市と企業の公民連携協定締結及び実証実験実施件数	0 件	3 件	4 件	

※千円未満切り捨て

## 2 デジタル田園都市国家構想交付金の効果検証

### ・デジタル田園都市国家構想交付金

「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から、デジタル実装を支援するもの。(デジタル実装タイプ)

事業年度	事業名称及び事業概要	事業決算額(千円)	うち交付金充当額(千円)	評価指標(KPI)	目標値(R6)	実績値(R6)	事業評価の判定
R4	<p><b>【事業名称】</b> GIGA スクール構想下の「いつでも・どこでもつながる」学校環境整備事業</p> <p><b>【事業概要】</b> 大型モニター、電子連絡網、外国人支援員が使用するパソコンを整備する。</p> <p><b>【地域課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別教室には大型モニターが設置されていない。</li> <li>・児童生徒の欠席連絡や便りの配布が電話や紙媒体のみであるため、保護者の負担が大きい。</li> <li>・外国人支援員全員にパソコンが行き渡っていない。</li> </ul>	17,335	8,667	学習室及び特別教室における整備率	16.6%	15.2%	一部の KPI が目標に達しなかったものの、概ね成果が得られたことから、地域の課題解決に相当程度の効果があった。
				電子連絡網を利用する児童生徒の割合	100%	99.9%	
				支援員等における PC 端末整備率	100%	61.5%	
				GIGA スクール構想を活用した学びの充実度	78.7%	85.8%	
				保護者の学校に対する満足度	89.5%	91.3%	
				外国人児童生徒初期支援教室での支援を受けた児童生徒の学校での適応状況(学校における3か月間の出席率)	98.0%	85.0%	

※千円未満切り捨て

事業年度	事業名称及び事業概要	事業決算額(千円)	うち交付金充当額(千円)	評価指標(KPI)	目標値(R6)	実績値(R6)	事業評価の判定
R5	<p><b>【事業名称】</b>        「書かない・行かない」安心できる窓口整備事業</p> <p><b>【事業概要】</b>        デジタル庁が推進する「窓口 DXSaas」を導入し、「書かない窓口」を実現することで、市役所への来庁者の待ち時間の短縮と手書きによる手間の削減を図る。また、メッセージ交換アプリ「LINE」の機能を活用した「行かない窓口」システムを導入し、電子申請の活用を促進することで市民の利便性向上を図る。</p> <p><b>【地域課題】</b>        戸籍や住民基本台帳を取り扱う本市の市民課の窓口は、年間 14,000 件以上の煩雑な事務処理を抱える部署であり、しばしば窓口来庁者の待ち時間が長くなることが課題となっていた。また、来庁者には申請方法の理解や記入に時間がかかる高齢者も多くいるため、自ら申請書を記入しなければならないことに対して負担を感じる声があがっていた。</p>	56,892	28,446	「行かない窓口」を利用した申請件数	1,200 件	200 件	<p>「書かない窓口」の利用件数は目標値を大きく上回り、利用者の利便性を高める一定の成果を得られたため、地域課題の解決に相当程度の効果があった。</p>
				「書かない窓口」を利用した申請件数	8,000 件	25,300 件	
				窓口での待ち時間が 10 分以上になった人の割合	10%	10%	
				マイナンバーカードの交付率	80.0%	92.0%	
				窓口利用者の満足度	70.0%	93.0%	

※千円未満切り捨て

事業年度	事業名称及び事業概要	事業決算額 (千円)	うち 交付金 充当額 (千円)	評価指標 (KPI)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	事業評価の判定
R5	<p><b>【事業名称】</b> 体育施設及び交流センターの DX の推進事業</p> <p><b>【事業概要】</b> 体育施設の利用手続きにオンライン決済やスマートロックなどを取り入れることで、利用者が管理施設の窓口に行く手間を省く。 また、交流センターのオンライン施設予約を実装することで、利用者の利便性向上を図る。</p> <p><b>【地域課題】</b> 学校体育施設などの管理人が常駐していない施設の利用に当たり、利用者は地域ごとに設置されている管理施設の窓口まで出向いて料金の支払いや鍵の受け渡しを行わなければならず、大きな負担になっている。 また、交流センターでは、紙台帳で予約を管理しているため、利用者と職員の負担になっている。</p>	10,888	5,444	学校体育施設を活用する登録団体数 スマートロックの利用回数 オンライン決済の利用件数 交流センターの利用件数に対するシステム利用割合 「窓口に行かない」体育施設利用の利用者満足度 学校体育施設の利用者満足度	450 団体 3,200 件/年 2,200 件/年 50.0% 90.0% 90.0%	454 団体 6,400 件/年 2,628 件/年 100% 95.0% 99.0%	全ての KPI が目標達成し、成果が得られたことから、地域課題の解決に相当程度の効果があった。

※千円未満切り捨て

事業年度	事業名称及び事業概要	事業決算額 (千円)	うち 交付金 充当額(千円)	評価指標 (KPI)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	事業評価の判定
R5	<p><b>【事業名称】</b> デジタルを活用した教育の充実化推進事業</p> <p><b>【事業概要】</b> 市内公立小学校にプログラミング教育のためのデジタル教材を整備し、デジタルを活用した教育の充実化を図る。</p> <p><b>【地域課題】</b> 本市では学校ごとに異なるプログラミング教材を活用しており、取組に統一感が無いことが課題となっている。</p>	4,289	2,144	プログラミング教材の貸出率	80.0%	81.7%	一部の KPI に目標未達成のものがあるが、概ね成果が得られたことから、地域課題の解決に相当程度の効果があった。
				児童のプログラミング学習に対する満足度	93.0%	91.6%	

※千円未満切り捨て

事業年度	事業名称及び事業概要	事業決算額(千円)	うち交付金充当額(千円)	評価指標(KPI)	目標値(R6)	実績値(R6)	事業評価の判定
R5	<p><b>【事業名称】</b> オープンデータを活用した公民連携のまちづくり事業</p> <p><b>【事業概要】</b> 住民基本台帳や課税台帳など、本市の各部署で保有する様々なデータを一元的に管理し、匿名化や分析ができるシステムツールを導入し、オープンデータとして公開する。</p> <p><b>【地域課題】</b> 企業やNPO、市民活動団体などの民間事業者が持つ資源や技術、ノウハウなどを生かした公民連携を進めようとしているが、課題の根拠となるデータを提供するための体制が整備されておらず、連携は進んでいない。</p>	7,720	3,860	公開するオープンデータ数	65件	85件	全てのKPIが目標達成し、成果が得られたことから、地域課題の解決に相当程度の効果があった。
				オープンデータのダウンロード数	9,000件	15,362件	
				公民連携協定数	45件	68件	
				オープンデータ利用者の満足度	60.0%	71.4%	

※千円未満切り捨て

事業年度	事業名称及び事業概要	事業決算額(千円)	うち交付金充当額(千円)	評価指標(KPI)	目標値(R6)	実績値(R6)	事業評価の判定
R5	<p>【事業名称】 健診受診者への DX の推進</p> <p>【事業概要】 既存の健診システムからクラウドサービスを利用することで、健診受診者は、自宅のパソコンやスマートフォンから健康診断の予約や問診入力に加え、健康診断の結果を閲覧することが可能となる。</p> <p>【地域課題】 本市健診センターの利用を希望される方は年々増加傾向にあり、予約時の電話の不通、受診（受付）時間の延長、検査結果発送の遅延等が発生している。</p>	5,874	2,937	インターネット予約利用者の割合 インターネット問診入力状況 インターネット結果閲覧状況 受付時間（入力作業時間）の短縮 システムへの入力作業時間の短縮 サービス利用者の満足度 健康意識の改善	60% 6,600 人 6,600 人 3 分/日 70 分/日 3 ポイント 2.5 ポイント	36% 0 人 0 人 4 分/日 100 分/日 2.5 ポイント 2 ポイント	受診時の 1 年後予約制度の定着や、Web 予約等を利用するための受診者情報の登録操作の複雑さから、KPI の目標は未達成となった。

※千円未満切り捨て

事業年度	事業名称及び事業概要	事業決算額 (千円)	うち 交付金 充当額 (千円)	評価指標 (KPI)	目標値 (R6)	実績値 (R6)	事業評価の判定
R6	<p><b>【事業名称】</b> デジタル探究教材を活用した教育の充実化推進事業</p> <p><b>【事業概要】</b> 郷土愛を持ち、課題を自分事として捉えて解決していく探究的な人材を育成するため、3D空間化された本市の自然や歴史文化施設等を小中学生が自由に探検・学習することができるデジタル探究教材を製作する。</p> <p><b>【地域課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学びに関する共通の教材がない。</li> <li>・子供たちが自ら地域の課題をみつけるための教材が不足している。</li> </ul>	9,838	4,919	製作したデジタル探究教材へのアクセス件数	10,000 件	3,066 件	事業完了が R6 年度途中であったため、一部の KPI に目標未達成のものがあるが、概ね成果が得られたことから、地域課題の解決に相当程度の効果があった。
				製作したデジタル探究教材に対する児童生徒の満足度	85.0%	94.0%	
				児童生徒の授業発表に対する肯定的な回答(小学生)	57.8%	60.3%	
				児童生徒の授業発表に対する肯定的な回答(中学生)	56.9%	57.3%	
				各校の探究学習の取組に関する肯定的な回答	43.8%	66.7%	

※千円未満切り捨て